5	１番　　下　町　　純　子　　議員 ①　本町の公共交通について 　最近、私の周りでも運転免許を返納したという声を何人かの方から聞きました。これまで買い物や通院などの移動は自分で車を運転して出かけていたので、それができなくなると急に不便を感じると言う方もいます。今はお子さんや近所の方、友人などが支援してくれますが、支援してくれる人たちも同じように免許を返納することになったらどのような生活になるのか、漠然とした不安を感じています。移動に不便を感じているのは免許を返納した高齢の方ばかりではありません。例えば、けがをして車で通院できない方、子育て支援センターや児童館で子供を遊ばせたい保護者など、移動に不便を感じている方は少なからずいるのではないかと思います。 　第１１次総合計画では、既存の公共交通機関ではカバーするのが難しい移動ニーズへの対応を検討する必要を認めつつ、ベッドタウンという本町の特徴を踏まえて、既存の公共交通機関を維持していく必要性も示しています。 　また、本町はバスや乗り合いタクシーなどの交通手段を見直し、町民が不便なく移動できる持続可能で便利な公共交通網をつくるために「長与町地域公共交通網改善計画」を策定しています。「地域公共交通会議」という仕組みもあり、住民・利用者・事業者・国・道路管理者などが参加し、地域の実情に応じた運行や利用促進などを協議し長与町らしい公共交通の在り方を模索していると思います。 　その上で、今後の本町の公共交通政策をどのように進めていくのか、考えをお尋ねいたします。 （１）現在、本町の公共交通はどのような状態にあると認識しているのか。 （２）既存の公共交通機関と協議していることがあるのか。 （３）過去に行われた実証実験の経緯とその結果から見えてきた課題は何か。 （４）自治会で取り組みを計画しているところがあると聞いているが、どのような形で実施していくのか。 （５）新たな交通システムの検討をしているのか。 （６）現在の本町の公共交通に対する課題や町民の要望などを改めて調査・分析する考えがあるのか。